

学校の教育目標：「知・徳・体の調和のとれた心豊かな児童の育成」		学校経営ビジョン：「今この時、個が輝き、躍動し、伸びている都農小学校」			
評価項目	現 状	自己評価	改善策	評価委員の意見（○：成果 ▲：課題→：課題改善のための手立て	評価
<p>確かな学力の定着・育成を図る教育の推進</p> <p>①分かる・できる授業の展開 (4つのチェックポイントを意識した授業改善)</p> <p>②学習態度・学習習慣の定着</p> <p>③読書活動の推進</p>	<p>① 職員研修の充実～若手もベテランも共に学び、共に高め合う職場環境づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分かる・できる授業づくりを目指す職場環境づくりに向け、授業力向上のためのチェックポイントを基に、相互に授業を参観したり、互いの技を共有したりする研修システムを整えてきた。 <ul style="list-style-type: none"> ・相互参観週間（自由に授業を見合う取組）【11月11日～12月7日までの4週間】 ・「ミニOJT交流会」での指導技術の共有 ・メンター長（チームリーダー）を中心にした小グループでの授業研究 ・授業力向上に係る県教委による支援訪問を年3回実施 ◆意識調査「学習内容の理解」の児童の肯定回答率 【昨年度87%→本年度94%】 <p>② 学習態度・学習習慣の定着に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 立腰指導への継続的な取組を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ◆意識調査「姿勢よく学習している」の肯定的回答【児童：72%、保護者：75%、教師：65%】 ○ 家庭における学習習慣の確立に向け、「自学ノート展」、「家庭学習の手引き」の活用、「学力向上月間（K1、S1グランプリ）」等を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ◆意識調査「家で復習している」の肯定的回答 【児童：84%、保護者：71%】 <p>③ 読書環境の充実及び家庭と連携した読書指導への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町費に加えPTA購入の新書により、児童が本を手に取りやすい環境となってきた。また、図書司書補助の職員による読書環境整備も行われている。 ○ 毎週水曜日を「たっぷり読書の日」、10月を親子読書週間（リレー家読）とし、家庭と連携した取組を行った。 ○ ボランティアによる「お話広場」の取組、町立図書館（移動図書館）の取組 <ul style="list-style-type: none"> ◆意識調査「家でも読書をしている」の肯定的回答【児童：76%、保護者：64%】 	3	<p>それぞれの項目について、一定の成果をあげることができた。特に、①の職員研修については、効果が見られたので、次年度も継続して力を入れていきたい。</p> <p>また、読書と学力（読解力）との関係についても、その必要性に注目が集まっている。読書量の向上についても力を入れていきたい。</p>	<p>○ 相互授業参観等のグループ研究は、先生方の児童への愛情を感じる。また、指導力の変化など期待がもてる。学校評議員も参観見学してみたい。</p> <p>▲ 先生方のメンタル面へ配慮する必要がある。</p> <p>○ 職員研修など、学力向上につながる取組が充実している。 → 「自学ノート」を回覧した経験があるが、友達のノートの使い方が参考になった。</p> <p>○ 図書室が心のよりどころになるとよい。</p> <p>▲ 学校図書館司書補助の方の日数が増えるとよい。子どもたちの居場所としての空間づくりにもつながる。 → 子供達などに読みたい本のアンケートをとるのも一つの手段かと思う。 → 他の方の感想が見れる「家読リレー」は、親子の会話も増える。回ってくる順番が毎回違うとよい。 → 読書感想文の発表などは、意欲を高めるのでは。</p>	3.6
<p>豊かな心を育む教育の推進</p> <p>①規範意識と生活態度の育成 (学習・生活環境の整備)</p> <p>②心と命の教育推進 (人権教育)</p>	<p>① 規範意識の高揚と基本的な生活態度の育成に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月、5・6年生を対象に、あいさつや清掃をはじめとする生活態度の育成のための集会を行い、リーダーとしての意識の高揚に努めている。また、生徒指導週間等を設定し、全職員で取り組んでいる。 ○ 「あいさつ名人」等の取組、PTAと連携した「あいさつ運動」の取組 <ul style="list-style-type: none"> ◆意識調査（あいさつについての肯定回答率）・・・児童91%、保護者88%、教師79% ◆意識調査（返事についての肯定回答率）・・・児童94%、保護者93%、教師78% ◆意識調査（はきものについての肯定回答率）・・・児童93%、保護者79%、教師89% ◆意識調査（清掃についての肯定回答率）・・・児童94%、—、教師84% <p>② 心と命の教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの未然防止や早期発見のために、都農小学校いじめ防止基本方針に基づいた組織的、計画的な取組を推進している。（いじめ不登校対策委員会、いじめ不登校サポート会議） ○ 地域人材との交流、地域の祭り等への参加、福祉教育の充実（高齢者、障がい者との交流） ○ 三先生を偲ぶ会、命の日（毎月18日）及び命の教育週間への取組 ○ 朝のボランティア活動の活性化（毎朝4年生以上のほとんどの児童と職員が参加） ○ 人権強調週間（5月、10月、2月）、人権集会（12月）への取組、 <ul style="list-style-type: none"> ◆意識調査（笑顔で楽しく生活の肯定回答率） 児童96%、保護者96%、教師95% ◆意識調査（思いやりのあるやさしい行動の肯定回答率） 児童95%、保護者96%、教師94% 	3	<p>あいさつ等の生活態度の育成に向けた様々な取組により、一定の成果をあげることができた。今後も保護者等と連携し、課題があれば改善しながら定着を目指していきたい。また、命についての教育は大変重要であるので、今後も力を入れていきたい。</p>	<p>○ あいさつや清掃が定着し、このまま都農小の伝統となつてほしい。</p> <p>○ 「あいさつ名人」の取組は、先生方が子供の様子をよく見てくださっているからこそその取組だと感じた。</p> <p>→ 「あいさつ名人」は、声の大きさだけでなく、「高学年の先輩が低学年の後輩を誘導している仕草を見かけた」などの視点での査定も吟味してみてもいい。</p> <p>○ 朝夕の子供達の様子を見ると、やさしい姿であいさつしてくれる。都農小の子供達はやさしいと思う。</p> <p>▲ 戦争の体験を語る世代がいなくなっている現在だが、いつまでも語り継がれることを願っている。</p> <p>▲ 朝のボランティア活動などは、先生方の勤務の軽減に配慮する必要がある。</p> <p>▲ スマートフォンや遅刻送迎の問題は、保護者の意識を高めることをPTAと協力して力を入れてほしい。</p>	3.4
<p>たくましい体づくりの推進</p> <p>①体力づくり(運動)の充実</p> <p>②健康教育と食育の推進</p> <p>③危機管理と安全指導の徹底</p>	<p>① 「体力向上プラン」を作成し、それに基づいた取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育の時間だけでなく、業間運動（持久走・なわとび等）や昼休み時間（遊びの推奨）における取組を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ◆意識調査（運動・遊びについての肯定回答率）・・・児童93%、保護者86%、教師94% ◆体力テスト結果・・・5段階評価の3以上の割合は、80.8%であった。（目標は85%） <p>② 望ましい生活習慣づくり（早寝、早起き、朝ご飯、ノーメディアの指導）への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎週月曜日実施の「さわやか調べ」で日曜日の就寝時刻を振り返らせる。 ○ 健康指導週間での「がんばりカード」（就寝時刻やゲーム時間のチェック） ○ 夏休み「みそ汁チャレンジ」「標語」 ○ 学校保健委員会で講師を招き、「子どもの健やかな成長と睡眠」という演題での講演を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ◆意識調査（テレビやゲームの時間を決めているの肯定回答率）・・・児童82%、保護者71% ◆意識調査（早寝・早起き・朝ごはんの肯定回答率）・・・児童88%、保護者85% <p>③ 危機管理と安全指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インフルエンザ対策については、11月下旬から全員マスクの対応を取るなど、早め早めの対応を心がけている。 <ul style="list-style-type: none"> ◆意識調査（手洗いやうがいの肯定回答率）・・・児童92%、保護者83%、教師95% ○ 停電時や学校不在時でのメール配信ができる「都農小安心メール」への変更を行い、不審者情報などの共有を行った。 ○ 避難訓練を年6回実施（経路確認、風水害、地震、シェイクアウト、火災、地震） ○ 5月の地震の際の緊急集団下校や、落雷、大雨の際に、緊急引き渡しを実施するなど、安全対策をとった。 	3	<p>望ましい生活習慣づくりの必要性が高まってきている。特に、SNS等のメディアの指導については、大変重要であるので、今後とも、力を入れて取り組んでいきたい。</p> <p>また、大雨や災害等を視野に入れながら、緊急時の対応など、危機管理の徹底に更に力を入れていく。</p>	<p>○ 体力向上や危機管理、ともにすばらしい。</p> <p>○ 体力づくりの基本は、家での食事や睡眠、寝ると思う。</p> <p>○ 運動は楽しい事だと思わせることが大切だと感じている。体力向上につながる運動は、楽しさを教えることだと思う。</p> <p>▲ テレビやゲームの時間を決めていない家庭がある。健康管理や心の問題、いじめ等は、スマホ、タブレット、SNSから始まると思う。</p> <p>▲ SNS等については、PTAと協力して力を入れてほしい。</p> <p>→ 家庭の会話ももてるようにと、食事をする部屋にはテレビを置かなかった。その習慣で今でも無いままである。</p>	3.2